

II 人々と戦争

明治維新後、初の対外戦争となった日清戦争を契機に日露戦争、第一次世界大戦、昭和に入ってから日中戦争、太平洋戦争へと、日本は軍国主義の色を濃くしていきます。福生にも昭和 15 年の町制の施行とほぼ同時に陸軍多摩飛行場(現横田基地)が設置されます。青年たちは徴兵され出征し、戦争は市民の生活にも影を落として、残された女性や子供たちも戦時協力体制に組み込まれていきます。当時の写真から国防婦人会や青年団の勤労奉仕などの活動の一端がうかがえます。また市民による空襲に備えての防空演習が盛んに行われ軍用の梅干なども供出されました。



19 日清戦争に出征した福生出身の衛生兵 広島 明治28年2月

20 福生村表忠碑建立記念 福生（神明社境内）大正8年2月





21 演習で来村した陸軍の自動車隊
熊川（内出付近） 大正 13 年



22 多摩製糸所の愛国子女団結成記念 熊川（多摩製糸所） 昭和 12 年 5 月



23 福生駅で出征兵士を送る 福生駅 昭和13年頃

24 凱旋の兵士を福生駅に迎える 福生駅 昭和14年





25 子どもたちの兵隊ごっこ 昭和15年

26 出征兵士の留守宅への勤労奉仕（稲刈り） 福生（現南田園） 昭和16年11月

出征家族ノ勤労奉仕ノ実施水稲刈

昭和十六年十一月二十日 農事実行部会





27 英霊無言の帰還 福生駅 昭和17年12月

28 玉川上水沿いを行く英霊の葬列（町葬） 福生（宿橋付近） 昭和17年





29 銃後を守る女性たち（防空演習）
熊川（鍋ヶ谷戸） 昭和17年頃



30 出征の幟 昭和10年代



31 出征兵士入営記念 熊川 昭和10年代

32 炭焼きの勤労奉仕に行った福生町青年団勤労報国隊 福生駅 昭和10年代





33 福生町役場屋上にあった防空監視所所員 福生（福生町役場） 昭和10年代

34 多摩製糸所構内での国防婦人会の体操 熊川（多摩製糸所） 昭和10年代

